



会場の様子

戦国時代のはじまりと韮山

12月14日 文化財シンポジウムを開催

韮山時代劇場で、文化財シンポジウム「宗瑞打ち入り！茶丸たいへん!!- 戦国時代のはじまりと韮山 -」を開催しました。シンポジウムは、司会を江戸東京博物館の齋藤慎一さんが、パネラーを学習院大学の家永道嗣さん、静岡古城研究会の望月保宏さん、東北学院大学の竹井英文さん、市文化財課学芸員がそれぞれ務め、討論形式で進行。来場者たちは、彼らの話を聞きながら、戦国時代に思いをはせていました。



ドローンをテーマに話す小野市長と古屋代表取締役

災害時の情報収集力を強化

12月25日 (株)KENZOと災害協定を締結

市では、災害時における迅速かつ確かな情報収集を行うことを目的に、(株)KENZOと「災害時における支援協力に関する協定」を締結。伊豆長岡庁舎で、締結式を実施し、ドローンを活用した情報収集や市が管理する防災用備蓄敷材及び支援物資の避難所等への配送など4点の協力内容について確認しました。同社の古屋健二代表取締役は、「災害に備え、さらなる技術向上を図る」と力強く語りました。

令和2年最初のイベント

1月1日 元旦マラソン&ウォーキング・ノルディックウォーキング

今年で15回目となる新年最初のイベント「伊豆の国市元旦マラソン&ウォーキング・ノルディックウォーキング大会」を韮山時代劇場で開催。市内外から約1,000人が参加し、新年の気持ちのよい日差しを浴びながら汗を流しました。

また、今回からノルディックウォーキングを新設。参加者は、それぞれ思い思いの種目に参加し、令和初となる新年のスタートを切りました。



新年のスタートは力強く

約600人がモンゴルを楽しむ

1月8日 「モンゴルと日本の架け橋コンサート」を開催

アクシスかつらぎで「モンゴルと日本の架け橋コンサート」を開催。来場者は、世界で活躍する民族音楽グループ「フスグトゥン」、オルティンドー歌手のアリウンツェツェグさん、民族舞踊家のナランゲレルさんとブルマーさんによるパフォーマンスを楽しみました。

また、市友好都市交流協会理事を務める馬頭琴奏者・小澤奈津季さんとのセッションも行われ、まさに「日本とモンゴルの架け橋」となるコンサートとなりました。



小澤さんとのセッションの様子

地元の食材で地域を盛り上げる

12月1日 浮橋そばの里祭りが開催

毎年恒例となる「浮橋そばの里祭り」が、今年も浮橋公民館の広場で開催。来場者は、おいしいそばに舌鼓を打ちました。

大人気イベントとあって、開始と同時にたくさんの来場者が会場を訪れ、大きなにぎわいを見せていました。そばの販売以外にも、浮橋産のもち米を使用した餅や農産物など、地元産の品々が販売されており、来場者は「おいしい一日」を楽しみました。



そばをほおぼる子ども

学校給食で地産地消

12月2日 市の特産農産物が学校給食に提供

市の学校給食に対し、市特産であるイチゴ・ミニトマト・ミカンが、JA伊豆の国いちご委員会、JA伊豆の国果菜委員会、小坂みかん共同農園からそれぞれ贈られました。贈呈は、地元産農作物を学校給食に提供することで、地産地消推進などを目的としています。

この日は、韮山小で贈呈式が開催。参加した児童約100人は、早速農作物を試食し、そのおいしさに顔をほころばせていました。



農作物の贈呈



記念に1枚

企業誘致がさらに前進

12月10日 江間工業用地区画A 売買契約締結報告式

市が造成した「江間工業用地区画A」について、日井国際産業(株)と「買戻特約付土地売買契約書」を締結。締結報告式を伊豆長岡庁舎で開催しました。同区画は、前進決定企業から所有権が市に帰属し、今回、改めて新進出企業が決定したものです。同社の山梨広取締役社長は「地域活性化や、雇用促進に少しでも協力できれば」と話しました。今後、来年7月の操業開始を目指し、7月から工場建設に着工予定です。



江間いちご狩りセンター開園式の様子

おいしいイチゴを身近で楽しもう

12月15日 市内でいちご狩りがスタート!

12月14日開催の江間いちご狩りセンター開園式では、安全祈願と商売繁盛の神事などが行われたほか、式典参加者らは今シーズン初のいちご狩りを楽しみました。また、伊豆長岡・韮山いちご狩りセンターも1月2日にオープン。

この機会に、市内で楽しむことができるいちご狩りに足を運んで、おいしく実ったイチゴに舌鼓を打ってみませんか。